

街を泳ぐ

仮歌詞

本日も生憎の曇天で 僕は列車に引きずられてる
行き先なんてそろそろどうでも良くなってきたころ
降り出した雨はちょっとやばい味がして
屋根が欲しくてさ そしたら君と目があった

傘もささずに 踊る踊る踊る踊る踊る
行進の中を 泳ぐ泳ぐ泳ぐ
雨に溶け出して 消える消える消える消えるような
気がして 僕は立ち止まる

本日も土砂降りの工程で 僕は生活に引きずられてる
行き先なんてそろそろどうでも良くなってきたころ
売り出した飴はちょっとやばい味がして
君が欲しくてさ そしたら君と目があった

傘もささずに 踊る踊る踊る踊る踊る
行進の中を 泳ぐ泳ぐ泳ぐ
雨に溶け出して 消える消える消える消えるような
気がして 僕はその手を取った

傘もささずに 踊る踊る踊る踊る踊る
水色の街を 泳ぐ泳ぐ泳ぐ
空に溶け出して 僕らはちょっと軽くなった
気がして

歌詞

本日も生憎の曇天で 日向は売り切れ
僕は列車に引き摺られている
終点がどこだってもうどうでもよくなってきたころ
降り出した雨はやばい味がした

ホームを出て右斜め 傘の群れに従う
屋根が欲しくてさ そしたら君と目があった

傘も差さず君は 踊る踊る
行進に逆らって 泳ぐ泳ぐ泳ぐ
雨に溶け出して消えてしまいそうな
気がして

本日も土砂降りの前提で空を仰ぐ
僕は生活に引き摺られている
未来がどうだってもうどうでもよくなってきたころ
売り出した餡はやばい味がした

錆び付いていくのさ 人も街も全部
行き先がわからなくて
そしたら君と目があつた

傘も差さず君は 踊る踊る
行進に逆らって 泳ぐ泳ぐ泳ぐ
雨に溶け出して消えてしまいそうな
気がして 僕は手を取った

傘も差さず僕ら 踊る踊る
行進に逆らって 泳ぐ泳ぐ泳ぐ
空に溶け出してどっか行けてしまうような
気がした